



IT **MANUALE D'USO**
EQUILIBRATORI

EN **DIRECTION FOR USE**
B.C.D.'S

FR **MANUEL D'INSTRUCTIONS**
GILETS STABILISATEURS

DE **BEDIENUNGSANLEITUNG**
TARIERJACKETS

ES **MANUAL DE INSTRUCCIONES**
CHALECOS HIDROSTÁTICOS

PT **MANUAL DO USÁRIO**
B.C.D.'S

ZH 平衡器 用户手册

JA ユーザーマニュアル
 balanサー

ID **PANDUAN PENGGUNA**
PENYEIMBANG

HI उपयोगकर्ता पुस्तिका
बैलेंसरस

RU **РУКОВОДСТВО ПОЛЬЗОВАТЕЛЯ**
КОМПЕНСАТОР ПЛАВУЧЕСТИ

TR **KULLANIM KILAVUZU**
CEKET

AR كتيب التعليمات لصديري الغطس

TH วิธีการใช้งาน อุปกรณ์ควบคุมการ
ลอยตัว ของ เครื่องสกี

AQUAWING PLUS
AQUAWING MAX

IT	EQUILIBRATORI	3
EN	B.C.D.'S	17
FR	GILETS STABILISATEURS	31
DE	TARIERJACKETS	45
ES	CHALECOS HIDROSTÁTICOS	59
PT	B.C.D.'S	73
ZH	平衡器	87
JA	バランスー	101
ID	PENYEIMBANG	115
HI	बैलेंसर्स	129
RU	КОМПЕНСАТОР ПЛАВУЧЕСТИ	143
TR	CEKET	157
AR	كتيب التعليمات لصديري الغطس	171
TH	เครื่องปรับสมดุล (อุปกรณ์ควบคุมการลอยตัว)	185

Cressi Italy**Headquarters**

Cressi Sub S.P.A.
Via G. Adamoli, 501
16165 Genova - Italy
Tel. +39 010 830 791
Fax +39 010 830 7920

www.cressi.com
info@cressi.com

Find your
nearest Cressi
branch at
www.cressi.com,
in the Contact Us
section.

CAN'T FIND YOUR LANGUAGE?

See the manual in the **MANUALS & SOFTWARE** section
at www.cressi.com or scan the QR-code



Official Website
www.cressi.com

Follow us on:
Facebook
Instagram
Youtube
Twitter
TikTok

info@cressi.com

#SHARE YOUR
EXPERIENCE

フレッシBCDS

CLESSI製品をご購入、誠にありがとうございます。あなたは優れた製品を選択しました。そのデザインは絶え間ない研究開発の結果であり、CRESSIの品質基準に従って慎重に製造されています。

はじめに

BCDは、レギュレーターを使用したダイビングをより快適に、より実用的に、より安全にするため、水中でのダイビング活動にとって最も重要なものである。実際、BCDはボンベの運搬に使用され、ダイビング中や水面上で、セルへの空気の注入・排出によって姿勢を制御することができる。こうすることで、ダイバーの比重が変化し、より軽く、よりダイナミックになります。この機能により、「BCD」(浮力調整装置)と呼ばれるようになった。

一般警告

△警告

以下の注意事項を守らないと、重大な損傷や死亡の原因になることがあります。

本取扱説明書に記載されているダイビング器材を適切に使用するためには、適切な訓練(理論と実践)を受ける必要があり、これは公認の認定機関からダイバー認定証を取得することによってのみ達成できます。資格のない人がこの装置を使用することは非常に危険であり、重傷を負ったり、死亡することもあります。また、この取扱説明書を十分に読み、理解することが不可欠です。

△警告

このマニュアルは、認定された学校によって行われる適切なダイビングコースによって予期されるトレーニングに取って代わるものではありません。

CE認証

CEマーキングの付いた製品を市場に出すには、個人用保護具の安全衛生に関する必須要件と同様に、特定の条件を遵守しなければなりません。そのため、CEマークは、これらの規制を遵守する必要がある、合法的で安全かつ高品質な製品にのみ表示されます。

個人用保護具として、CLESSI BCDは規則(EU) 2016/425および整合規格EN 1809:2014+A1:2016(およびすべての旧版)を実施する国内規格の規定に準拠しています。

このPPEのEU適合宣言は、当社ウェブサイトwww.cressi.com「DOWNLOADS」エリアでご覧いただけます。適切なマーキングは製品に記載されています。CE規格で規定されているように、CLESSI BCDは最大水深50mでの使用が認証されています。

△警告

BCは救命胴衣ではないし、水面に出ても頭を水面から出すことを保証するものでもない。

BCは呼吸装置ではありません。深刻な身体的危害を引き起こす可能性があります。決して浮力バッグ内のガスを吸い込まないでください。

重大な身体的危害を引き起こす恐れがあるため、物や人を持ち上げて水面まで運ぶためにBCを使用しないでください。

特徴

ダイバーの多様なニーズに応えるため、クレッシーのBCDはカタログに掲載されている様々なモデルによって異なる特徴を持っています。それぞれの特徴を以下に説明しますので、正しくお使いください。

エアセル

エアセルは、BCDの水密部分で、ダイバーの姿勢を変化させるために膨らんだり縮んだりします。

エアセルにハーネスを装着し、その上にボンベを装着します。セルは、その形状や入っているセルの種類、発揮できる上昇浮力によって、さまざまな種類があります。

■ 標準空気電池

スタンダード・エアセルは、最も伝統的で快適なものです。形状はジレに似ており、空気を背中と側面、前面に分散させます。最大の特徴は、ダイバーを包み込み、垂直姿勢を保たせることです。

■ バックエアセル

このタイプのBCDの特徴は、ダイバーの後部にエアセルを配置することで、前部を解放し、BCDを軽量化し、容積を小さくしていることです。また、膨らませたときに体を締め付けず、ストラップから独立しているため、自由な動きを感じることができます。

△ 警告

バックエアセル付のBCDは、水面にいるとき、空気の塊によってダイバーが水平になり、頭が下になる傾向があります。意識を失った場合、頭部は水に浸かったままになります。そのため、専門コースを受講した熟練ダイバーが使用します。

バックプレート

BCDのバックプレートは、シリンダー、ハーネス、エアセル、BCDとダイバーの間を正しく組み立てるための後方部品です。ダイビング用レギュレーターの全重量に耐えるため、非常に重要な部分です(図11-12)。

■ ダブル・ストラップ・リジッド・バックプレート

クレッシーのリジッドバックプレートは軽量アルミニウム合金製。2本のストラップでタンクをしっかりとホールドできるのが特徴。ハーネス調整用の様々なスロットを備えている。

■ 剛性の高いバックプレートでシリンダーを固定する。

クレッシーのリジッドバックプレートには、タンクを固定するための2本のストラップが後部に付いている。これらのストラップはタンクの全重量を支えるため、非常に重要な役割を果たす。そのため、特殊なロック式バックルを使って注意深く締めなければならない。

後者は工場出荷時にすでに正しく組み立てられています(図12)、それでも正しい方法を学ぶことは重要です。そのためには、下の図1から図5までのステップを参照してください。

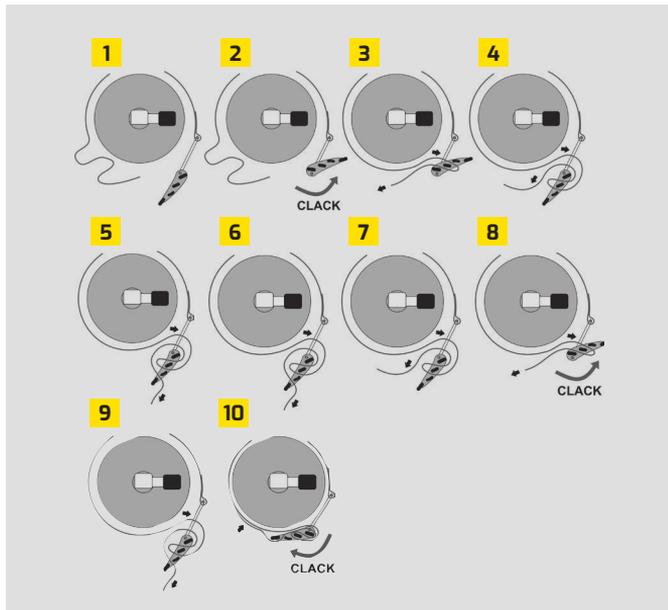
バックルの位置が図のように決まったら、次の手順でタンクを取り付けます：ストラップをベルク口から外し、図6のように緩めます。タンクを下から差し込み、アウトレットバルブがBCDに向くようにします。バックルの最初のスロットからストラップを外します(図7)。

バックルをカチッと音がするまで回して開き、タンクをしっかりと固定するようにストラップを締めます(図8)。バックルを部分的に閉じ、ストラップの端を最初のスロットに再び挿入します(図9)。バックルを完全に閉じ、ベルク口でストラップを固定します(図10)。この時点で、タンクは正しく保持されています(図13-14)。

△警告

ストラップは必ず濡らしてから使用してください。ストラップが乾いていると、水中で伸びてしまい、ボンベが外れてしまう恐れがあります。

ボンベを取り付けたら、ダイバーの頭がレギュレーターにぶつからないように、バックプレートの上側をバルブより5~10cm下に保ちます(図14)。



適合シリンダー

容量10/12/15/18リットルまたは直径171～216mmのすべてのダイビング用シリンダーに対応しています。

ウェイトポケット

アクアウイング+モデルには、ウェイトを専用のポケットに直接挿入できるシステムが搭載されています。このシステムにより、ダイバーはウェイトをウェストベルトに装着する必要がなくなり、緊急時にウェイトをスムーズにリリースすることができます。

△警告

安全上の理由から、BCDのウェイトポケットが完全に解放された状態でも、ダイバーの体勢を管理しやすくするため、ウェイトベルトは最小限のウェイトを腰に装着し、危険な無秩序な上昇を避けることをお勧めします。

■ウェイトポケット

このシステムは非常にシンプルで、背板の横にある2つの固定ポケットで構成されている。ポケットの中には、ベルクロ留め具と取っ手の付いた特別なウェイトポーチが入っています。ウェイトを外すには、ポケットを留めているクイックリリースバックルを2本の指で開き(図15-16-17)、ポーチを持ちたければ取っ手を取るだけです(図18-19-20)。そうでなければ、重りは重力で落ちる。重りを重力で離すには、頭を垂直にし、頭を表面に向ける必要がある。挿入できる重りは、1ポケットあたり3kgまでです。



15



16



17



18



19



20

リアポーチ(シリンダー)

各ポーチは2.5 kgを収納できます(合計最大5本)。詳細は112ページの図56をご参照ください。

アクセサリ

- 統合バラストシステム。バックパックのサイドにウェイトポケットを備えた左右2つのポケットを装備。前章の「統合バラストシステム」の説明を参照。

正しい組み立て方については、cressi.comのサポート/取扱説明書専用セクションからダウンロードできる説明書を参照してください。

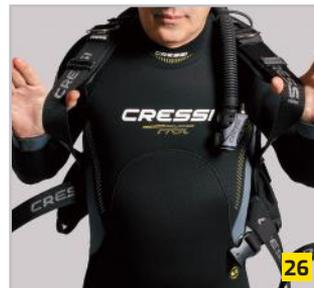
ハーネス調整

Aquawing、Aquawing +、Aquawing Maxは、特許を取得した新しいモジュラー・アジャストメント・システム(MAS)を使用して、あらゆる体型(男性、女性)に適応するように設計されたワンサイズの環状BCDです:実際、肩と腰に巻きつけた50mmのストラップを引っ張るだけで、素早く自分のサイズに調整することができます。

BCDを装着する(ハーネスを締める)には、次のようにします:両手で腹部ストラップの端をつかみ(図21)、体から上へ、そして外側(約45度)へ引きます(図22)。次に、腹部と股にある2つのクイックリリースバックルを閉じます(図23)。

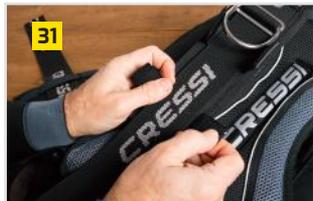


BCDを取り外す(ハーネスを緩める)には、以下の手順で行います:股と腹部のバックルを開き、腹部ストラップの両端が空いていることを確認します。シヨルダーストラップのストラップを腰のすぐ上でつかみ(図24)、腰の外側から上に動かします(図25~26)。



Dリングの調整

ショルダーストラップのDリングの位置を変えるには、次の図のようにします(図27-28-29-30-31-32-33-34-35-36-37-38-39-40)。



クイックリリースバックルの調整

バックルの位置を調整するには、次の図のように操作してください(図41-42-43-44-45-46)。



SMBポケット(サーフェス・マーカ・バイ)

バックプレート・カバーの下にある特別なポケットを使い、サーフェス・マーカ・バイを収納します(図47)。



コントロールユニット

コントロールユニットはBCDの心臓部であり、空気圧ブラダの膨張・収縮機能と連動しています。パイパス、コルゲートホース、ダンプバルブで構成されています(図53)。

BY-PASS:パイパスは、すべてのボタンと膨張・収縮機構(図51)を収納する端末で、BCDのすべての重要な操作を制御するため、常に手の届くところになければなりません。第1ステージからの低圧ホースは、クイック・カップリングによってパイパスに接続されます。これによりBy-Passバルブがタンクに空気を送り込むことができます。このバルブは1~15barの相対圧で作動するように設計されていますが、8~12barの相対圧で使用することをお勧めします。

△ 警告 低圧ホースは、アダプタを使用して、3/8インチ24UNFまたは1/2インチ20UNFスレッドの適切なLPまたはMP (LOW/MEDIUM PRESSURE) アウトレットを経由してレギュレータのファーストステージにねじ込む必要があります。レギュレータの他のアウトレットはHP (高圧) で、メス7/16インチ20UNFスレッドを持っています。BCDの低圧ホースをHP (高圧) アウトレットに接続しないでください。これは個人の安全に対する重大なリスクとなります。

△ 警告 以下の場合には中圧ホースの交換をお勧めします：

- ゴム部分や金属部分との接合部からエア漏れがある場合。
- 加圧時と静止時の形状に異常がある場合。ホースは常に全長にわたって完全な円筒形でなければならない。
- 擦り傷、摩擦、小さな切り傷によって表面が変化している場合。
- 自給式呼吸装置を持ち上げたり、急な動きで引っ掛かったりするなど、通常の使用を超える牽引を受けた場合。
- 明らかな損傷がなくても、破砕や大きな衝撃を受けた場合。損傷が内部の場合もある。
- レギュレータとの接続ネジ部が損傷した場合。

ホースをバイ・パスに接続するには、クイック・カップリングの端にあるローレット加工されたブッシングを握り、引き戻します。同時に、ホースのメス型カップリングをBy-Passシリンダーに完全に挿入します。ブッシングを離し、ホースを静かに引いて、正しくかみ合っていることを確認します。取り外すには、ブッシングを引き戻し、ホースをBy-Passから取り外します (図49-50)。



△ 警告 付属の純正クレスシホースのみを使用してください。交換が必要な場合はクレスシホースの使用をお勧めします。

■ コルゲートホース: コルゲートホースは、エアダクト、ダンプバルブを操作するケーブルのガイド、およびホースのハウジングとして機能する円筒形のゴム製エレメントです (図52)。

■ ダンプバルブ: 最後に、クイックダンプバルブは、空気を空にするために空気圧ブラダーに接続するプラスチック製の末端部品です (図54)。



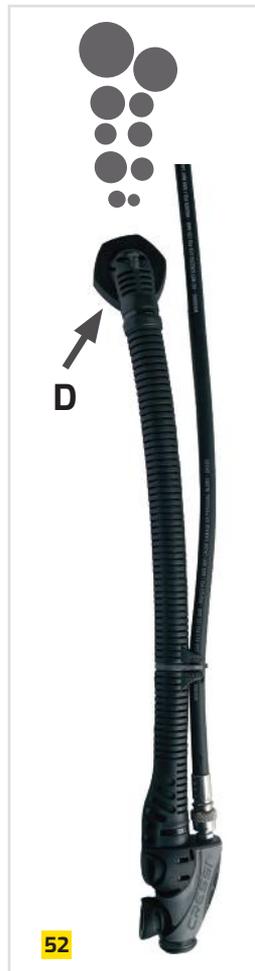
コントロール・ユニットの機能

上記のように、コントロール・ユニットでは様々な機能をコントロールすることができます。その機能は以下の通りです：

- 1 - ボタンAによる空気注入(図51)。ボタンを押して空気を入れる。
- 2 - 口による空気注入：マウスピースB(図51)に口を当てます。少量の空気を吹き込み、ダクトに残った水を取り除きます。Cボタンを完全に押しながら息を吹き続けます。停止するには、ボタンを放します。必要に応じて繰り返します。
- 3-クイックダンプバルブDで空気を抜きます。クイックダンプバルブDは、コルゲートホースを下方に引くことで操作できます(図52)。この時、ダイバーは垂直の姿勢でなければなりません。
- 4 - 従来の収縮方法：体を垂直にした状態で、コルゲートホースを浮上させ、ボタンCを押します(図53)。

フラットコントロールユニット

クイック・ダンプ・バルブは、設置面積がかなり小さく、重量も軽くなっています。圧力開放弁は装備されていません(図54)。



バルブ

ブラダーから空気を逃がすために、各クレッシBCDには上の図のように2つのバルブが付いたコントロールユニットがあります。すべてのモデルには、左下の内側にクイックダンプバルブとプレッシャーリリースバルブが追加装備されています。そのため、ダイバーはダイビング中に緊急事態に遭遇しても、完全な安全性を享受することができます。このタイプのバルブは、ノブを引いて手で操作するもので、ダイバーがほとんどの姿勢で空気圧式ブラダーを空にできるよう、簡単にアクセスできなければなりません。さらに、上述したように、このバルブはプレッシャー・リリース・バルブ、つまり圧力が過剰になったときにブラダーから空気を抜くバルブでもあります。

■ 左下の内部バルブ:

これは内部左下にあり、作動させるノブは、ブラダーの端に近いバルブ本体のすぐ下にある(図55)。ダイバーが逆さまになったり、水平になったりしたときに空気を抜き、ダイビング終了時には、必要に応じてブラダー内に入った水を排出するために使用します。



△ 警告 このようなリアポーチにウェイトを収納する場合、緊急時にウェイトをリリースすることができないため、メインウェイトシステムで補う必要があります。また、メインウェイトをリリースしたときに、ダイバーが浮力を確保できるような低重量でなければなりません(図56)。

BCDを装着する:

両手で腹部ストラップの端をつかみ、身体から上方および外方(約45度)に引きます。その後、腹部と股部にある2つのクイックリリースバックルを開ける(前章「ハーネスの調整」を参照)。重いタンクを支えるため、地面に対して高めの場所に置くことをお勧めします。水中でBCDを装着することはお勧めしません。

緊急リリース

クロッチバックルとアブドミナルバックルを開き、アブドミナルストラップの両端が自由になっていることを確認します。ショルダーストラップのストラップを腰のすぐ上でつかみ、腰の外側から上に動かします(前章「ハーネスの調整」を参照)。



ダイビング前のチェック

- 1 - 低圧ホースが正しく取り付けられていることを確認する。
- 2 - バルブ固定用ナットがしっかりと締まっていることを確認する。
- 3 - タンクが完全に固定されていることを確認する。
- 4 - BCDを膨らませ、空気圧ブラダーの効率をチェックする。
- 5 - コントロールユニットのすべての機能を数回試します。
- 6 - プレッシャーリリーフとクイックダンプバルブの動作を確認する。

ダイビング:

すべてのダイビングは、水面での準備停止から始めなければならない。こうすることで、浮いたり泳いだりしやすくなり、予備動作が安全になります。準備ができたなら、潜降を行うために完全に空気を抜く必要があります。潜降中は、浮力が過度にマイナスにならないように、またスピードが過度に上がらないように、少しずつブラダーを膨らませることをお勧めします。最大深度または最初の停止点に達したら、ニュートラルポジションになるまでブラダーを膨らませます。この姿勢は泳ぎをとっても楽にします。やり過ぎには十分注意し、理想はわずかにネガティブな状態を保つこと。深く息を吸い込んだり、フリッパーで上向きにキックしたりするだけで、浮力は中性からプラスに変わり、気を抜くと非常に危険な状況に陥る。非常に危険で急激な無制御上昇を引き起こす可能性さえある。このような事態を避けるためには、このような浮力変化を素早く認識し、バルブを使ってすぐにBCDを収縮させる必要があります。ランタイムが終了したら、上昇高度に比例して部分的に空気を抜くように注意しながら上昇しなければなりません。すべてのダイバーにとって、上昇とBCD(およびドライスーツ)の脱着は切っても切れない関係にあります。脱着は、BCDが体に与えるポジティブスラストの影響を受けないように調整しなければなりません。水面に上がったなら、BCDを再び膨らませる。

コントロールユニット “の項で述べたように、インフレーション操作は、バイパスボタンを使うか、マウスピースとボタンを使って口から行います。両方の方法を十分に練習することをお勧めします。ダイバーの位置は操作の効果に関係ありません。また、後部のクイックダンプバルブは、ノブを引いて操作します。デフレーションの際、ダイバーの位置は操作の効果に大きく影響します。コントロールユニットまたは上部リアバルブを使用して空気を抜くときは、水面に対して垂直でなければなりません。一方、下部リアバルブを使用して空気を抜くときは、頭を下げ、より正確にはBCDの下部を上に向けなければなりません。空気を抜くときは、空気が抜けきったらずぐにエレメントを閉じるように注意してください。そうしないと、空気でふさがれなくなったブラダーに水が入り始め、浮力が変わってしまいます。

△ 警告 後部ブラダーを装備したBCDの場合、水面に出たときに空気の塊によってダイバーが水平に逆さまになりやすく、意識を失ったときに頭部が水没したままになることがあります。そのため、その特徴をよく理解した熟練ダイバーが使用することをお勧めします。

△ 警告

前の段落で述べたように、BCDのコントロールが正しくないと、非常に危険で、急激で、コントロールできない上昇につながり、重大な減圧事故や致命的な減圧事故につながるものがほとんどです。このような状況を防ぐために、私たちは常に、上昇中にBCDを徐々に収縮させ、わずかに負の浮力を維持することをお勧めします。垂直姿勢の場合は、上側のバルブで行います。珍しいことに、体が逆さまになっている場合は、下側のバルブで行います。一般的なルールとして、空気を抜くときは常に水面に近い方のバルブを使うこと。

使用と期間の制限

- 1 - このBCDは水深50m以深では使用しないでください。
- 2 - このBCDは、CEマークの付いたSCUBAダイビング用呼吸器具と一緒にのみ使用してください。
- 3 - このBCは水温-2 °C~+ 40 °Cの範囲で使用できます。外部(周囲)温度は-20 °C~+50 °Cです。
水温が10 °C以下の極端なコンディションでのダイビングは、人体にとって危険であるため、そのようなコンディションでダイビングを行う前に、特定のコースを受講し、合格している必要があります。
- 4 - 浮力調整装置はライフジャケットではないので、頭を水面から出しておくことはできません。
- 5 - 本取扱説明書に記載されている浮力調整装置を、O2を40%まで含むナイトロックス混合気で使用する場合、呼吸可能な空気を使用する場合よりも頻繁で徹底したメンテナンスが必要になります。
- 6 - 軽微なものであっても、このBCDを改造することはできません。個人の健康と安全のために、改造は禁止されています。
- 7 - 個人の健康と安全のため、汚染された水、浮遊物の多い水、水と異なる化学的/物理的特性を持つ液体での使用は禁止されています。
- 8 - 塩素を含む水中でBCDを使用すると、素材が劣化します。したがって、塩素濃度の高い水での使用は推奨されません。

メンテナンス

BCDを正しくメンテナンスするために、必ず以下の指示に従ってください：

- 1 - 常に保護袋に入れて持ち運んでください。
- 2 - 鋭利なもの、尖ったもの、擦り傷の原因となるものとの接触は避けてください。
- 3 - 長時間の日光への露出は避けてください。

- 4 - 海、湖、プールでのダイビングの最後には、必ず内部と外部を真水で洗い流してください。内部は、コントロールユニットのマウスピースからブラダーを約1/3満たし(ドレインボタンを押したまま)、部分的に膨らませて振ります。下部のクイックダンプバルブを開いて空にする。
- 5 - 4~5ダイブごとに、ホース用クイックカップリングとバイパスカップリングを清掃し、シリコングリースを塗布してください。
- 6 - ホースシールは年に一度、公認のクレッシセンターで交換してください。
- 7 - BCDは年に一度、公認のクレッシセンターで点検を受けることをお勧めします。激しい使用(ダイビングセンター、レンタル、プロユース、その他)の場合は、公認クレッシセンターで3~6ヶ月ごとにBCDの点検を受けることをお勧めします。
- 8 - ホースの交換が必要な場合、新しいホースは購入時に供給されたホースと同じタイプでなければなりません。ホースの特性について疑問がある場合は、メーカーまたは正規販売店にお問い合わせください。

ストレージ

- 1 - BCDは完全に乾燥し、部分的に膨らんだ状態で、涼しく乾燥した場所に保管することをお勧めします。吊るして保管するのが理想的です。
- 2 - 保管場所は、熱源や直射日光の当たらない場所にしてください。
- 3 - BCDの安全機能に影響を与える可能性のある化学製品や腐食剤と接触する可能性のある場所は避けてください。
- 4 - 上に他の物を置かないようにしてください。
- 5 - コントロールユニットは伸ばした状態にしておいてください。コルゲートホースを折り曲げたり、押しつぶしたりしないでください。

サイズ

サイズについては、最終表のフィット欄参照。

ナイトロックス

このBCDは、40%以上の酸素を含むナイトロックス混合ガスでは使用しないでください。酸素の割合が高い混合物や、ヘリウムやその他のガス（トリミックス）を含む混合物を使用すると、BCDやその構成部品の腐食、劣化、早期老化を引き起こし、破損する恐れがあります。その結果、浮力のコントロールができなくなったり、BCDの密閉性が失われ、身体に重大な損傷を与える恐れがあります。酸素含有量の高い混合液は、発火や爆発の危険性も高めます。ナイトロックスまたはトリミックス混合気を使用するためには、ダイビングの認定に加え、国際的に認められた教育機関が発行する特定の認定を取得する必要があります。

マーキング

ダイビング用浮力制御装置は、個人の健康と安全に関する欧州規制を満たさなければならない個人保護装置です。製品に表示されているCEマーキングは、規則(EU)2016/425の付属書IIに規定されている必須健康安全要件に適合していることを意味します；このPPEのEU適合宣言は、当ウェブサイトwww.cressi.com「DOWNLOADS」エリアで参照できます。EN1809:2014+A1:2016個人保護目的の浮力制御装置の規制に関する欧州規格。このマークが貼付された製品は、この規格の要件を満たしていなければなりません。製品（バックプレートカバーの下）に貼付されているラベル（図57）には、以下のデータが表示されています：最初のラベル



- BCDシリアル番号

セカンドラベル

△警告

これはライフジャケットではないので、頭を水から守ることはできません。

- このBCDの使用には、有資格のインストラクターによる特定のコースが必要です。
- 緊急時、水面に仰向けで浮くことは、すべての使用者、すべての状況において保証されるものではありません。
- 使用前に、BCDの状態、正しく機能しているか、穴やその他の損傷がないかを確認してください。
- マニュアルに記載されている指示を参照してください。
- ブラダール内のガスを吸入しないでください。
- BCDから取り外さないでください。

モデル: _____ 製造年 _____

各BCDサイズの浮力値（ニュートン）を示す表。
最大タンク容量（リットル）と最大直径を示すピクトグラム。

クレッシーのヨーロッパ保証

1999/44EC指令に基づき、クレッシーは製品の不適合と適切な機能に影響を及ぼす欠陥に対して保証を行います。顧客と消費者により良いサービスを提供し、生産工程の効率と品質を強調するために、前述の保証期間を次のように延長することを決定しました：BCDは購入日から2年間保証されます（レンタルまたは教育用）；BCDは購入日から2年間保証されます（レンタルまたは教育用）；正常に機能する場合は12ヶ月間、不適合の場合は24ヶ月間。例外：消耗部品、傷、穴あき、擦り傷、化学薬品（塩素を含む）による損傷、日焼けによる損傷、放置、衝撃、通常の消耗による損傷。

クレスシ・ジャケットの特徴

JA

Cressi Aquawing / Aquawing Plus / Aquawing Max

114

Rev. 04/2023

モデル	AQUAWING	AQUAWING +	AQUAWING MAX
▶ タイプ エアセル - 素材	バックセルナイロン 210 d コーデュラ 1500 d	バックセルナイロン 210 d コーデュラ 1500 d	バックセルナイロン 210 d コーデュラ 1500 d
▶ バックプレートの種類 シリンダー固定	リジッド ダブルストラップ	リジッド ダブルストラップ	リジッド ダブルストラップ
▶ 適合シリンダー リットル - 直径(mm)	シングル 10/12/15/18/ - 171/203/216	シングル 10/12/15/18/ - 171/203/216	シングル 10/12/15/18/ - 171/203/216
▶ ウェイトポケット 最大KGポケット	ノー	FIXED GRAVITY POCKET - 3+3 KG	FIXED GRAVITY POCKET - 3+3 KG
▶ 腹部調整	バックル	バックル	バックル
▶ 胸骨調整	ノー	ノー	ノー
▶ ショルダーストラップ調整	MAS(モジュラー・アジャストメント・システム)	MAS(モジュラー・アジャストメント・システム)	MAS(モジュラー・アジャストメント・システム)
▶ N. クイックダンプと 過圧バルブ ノブ	1 - 背面 左下エリア	1 - 背面 左下エリア	1 - 背面 左下エリア
▶ トータル・ダンプ・バルブ	3	3	3
▶ NO. チャージバルブ	2	2	2
▶ コントロールユニット	FLAT	FLAT	FLAT
▶ ポケット数 ポケット数	NO	NO	NO
▶ ポケット数 バックポケット数	2	2	2
▶ ポケット数 D “リング”	2	4	4
▶ 推力(ニュートン)	XS S M L XL 120	XS S M L XL 120	XS S M L XL 170
▶ BCD重量 総バラスト 使用可能重量(kg)	XS S M L XL 2.9 5	XS S M L XL 3.75 11	XS S M L XL 3.9 11
▶ 着用感 チェスト(cm) - ウエスト(cm) 体重(kg)	XS S M L XL 80/130 75/130 55/125	XS S M L XL 80/130 75/130 55/125	XS S M L XL 80/130 75/130 55/125

CRESSI

CRESSI

Cressi Sub S.p.A.

Headquarters:

Via G. Adamoli, 501
16165 Genova, Italy

+ 39 010 830791
info@cressi.com

www.cressi.com